

令和4年度 第1回江別市行政改革推進委員会 会議録（要点筆記）

日 時：令和4年10月18日（火） 10:00～10:56

場 所：江別市役所 公室

出席委員：千里政文委員長、伊藤祥子委員、鈴木貢委員、野村奈津子委員、白川典子委員、
神保正志委員（計6名）

欠席委員：吉川哲生委員

事務局：企画政策部 川上部長、伊藤次長、
政策推進課 嶋中課長、水口参事、中住主査、眞鍋主査、北島主査、池田主任

傍聴者：なし

会議概要

1 開会

2 議事

（1）行政改革推進計画の取組状況（令和3年度）について

事務局から説明

- ・江別市行政改革推進計画（2019年度～2023年度）：（資料1）

【質疑なし】

- ・江別市行政改革推進計画の取組状況（令和3年度）概要版：（資料2）
- ・行政改革推進計画の取組項目：（資料3）

【質疑】

○神保委員

資料2の指標の矢印が気になった。これは、初期値2017年と令和3年度との比較で矢印が上下していると思ったが、そうならないものもあり、今の市の説明を受けて初めて分かるような気がする。

しかし、例えば資料2の「18 事務事業評価による事務改善等」では、矢印が全部下向きになっている。この取組項目の指標「まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合」の実績値を資料3で見ると、初期値の66.7%に対して、令和3年度は77.6%である。100%に向けた取組などが足りない部分はあるかもしれないが、対初期値との比較では増加しているので、本来ならば矢印を上に向けても良いのではないか。

一方で、指標の実績値が目標値には達していないが、初期値より上がっていて、矢印が上を向いているものもある。統一されていないので分かりにくい。

説明を聞けば理解できるが、この資料2の矢印と資料3を見ただけでは、「18 事務事業評価による事務改善等」の状況は頑張っている、順調に進んでいると見るのが普通ではないか。この辺の対応を分かりやすくした方が良い。

2点目は、資料2の右側の「行政改革推進計画の成果指標」についてである。

この成果指標の中で、資料3と照らし合わせて見たときに、基本目標1「②市民参加の機会についての市民満足度 81.9%」と基本目標2「②コミュニケーションが良好で風通しのよい職員割合 69.4%」は見つけることができた。

それ以外については、今回の説明を聞けば理解できるが、資料だけを見る人は疑問に思うのではないかと。知恵を出して、資料の内容を分かってもらえるような努力をした方が良いのではないかと。

○事務局

1点目、事務事業評価による事務改善等について、初期値66.7%に対して各年度いずれも上回っているのであれば上向きの矢印にした方が見やすいのではないかとという意見だが、この指標に関して申し上げますと、いずれも各年度の目標の100%に至っていないために下向きの矢印を付けている。必ずしも初期値との比較だけで矢印を上向きにするか下向きにするかを判断していないことをご理解いただきたい。

2点目、資料2の「行政改革推進計画の成果指標」の数値が、資料3の取組状況では見つけることができないというご指摘についてであるが、「行政改革推進計画の成果指標」の目標を達成するために行っている個別の取組が「行政改革推進計画の取組項目」だが、その関連性が分かりにくくなっている。

現状では資料をあちこち見ることになるため、非常に分かりづらく、好ましい状態ではないと認識しているので、今後はわかりやすい資料の作成に努めていきたい。

○神保委員

市民にとって分かりやすくするというスタンスが大事だと思うので、可能であれば記載の方法などを考えてもらいたい。例えば、脚注を付けるなど方法があると思う。

○事務局

今回、令和3年度の評価を公表する際には、分かりやすい表現ができるよう記載の方法などを工夫してまいりたい。

○千里委員長

少しでも分かりやすく改善できるようお願いします。

本日、欠席されている吉川委員から意見が出ているので、事務局から説明願う。

○事務局

本日欠席されている吉川委員からメールで意見をいただいているので紹介する。

まず、基本目標2の(2)の①職員提案数について、「過去2年伸び悩んでおられた項目が、3年度は募集期間を長く設定するなど工夫されたことで成果につながったようですね。やはり自分の意見が形になっていくことは職員の皆さんのモチベーション向上にもつなが

ると思いますので、引き続き環境整備をお願いします。この取り組みが9のコミュニケーション活性化などにもつながっていくことを期待します。」との意見であり、これは、職員のコミュニケーションの活性化の指標が下がっていたことを受けて、活性化につながればという意見である。

次に、基本目標2の(7)の①職員の災害対応能力の向上について、「コロナ禍にあっても災害が発生している市町村が全国に多数あることから、防災訓練は是非とも100%の参加率を達成していただきたい。できれば毎年度100%の参加率を実現できる内容を期待します。」との意見である。

最後に、基本目標3の(3)の①事務事業評価について、「コロナ禍での事業縮小・中止などもあるかと思えますし、文化・芸術や交通環境といった非常に厳しい事業項目について未達が多いものと察します。達成項目増加が将来の住民満足度の向上につながり、住民減少抑制や増加につながることも考えられますので、是非とも数値向上につながる施策に取り組んでください。」との意見である。

○千里委員長

2点目の災害対応能力について、コロナ禍でなかなか訓練などを実施できていない。最近では、屋外でのお祭りの開催や防災訓練も実施され、若干動き出している。ただ、新型コロナウイルスの感染状況が完全に収束したわけではなく増減を繰り返しているため、その状況に応じた柔軟な努力を続けて、良い方向に進めていただきたい。

3点目も同様に新型コロナウイルスの感染拡大により事業が縮小されており、来年度以降どうなるのか。令和5年度に向けて、100%の達成率を目指して実施していくことになるが、感染状況については分からない要素がたくさんある。ただ、世の中は動いているので、その中で努力を続けて各種指標を向上させるよう頑張っていたいただきたい。

この3つの意見について、意見はあるか。

○神保委員

2点目の職員の訓練参加率についても、令和3年度は100%に達していないので、前年度から増えているにも関わらず、矢印を下向きにしたのだと思うが、担当課のモチベーションの低下につながるのではないか。コロナ禍で頑張ってきたことを前面に評価をするべきではないか。

この初期値は参考値で、矢印については注釈を付けるなどして、どのような評価基準で評価しているのか説明するようにしなければならないのではないか。

○千里委員長

これも表記の仕方になると思うが、100%を目指していくのか、前年度と比較するのか様々な評価基準が混ざっており、そこが分かりにくいとの指摘である。

確かに、目標は達成されていない事実があるが、大変な中で頑張っているのも分かるので、

何とか頑張りをもっと分かりやすく評価しても良いのではないか。そうすることにより、担当課の職員のやる気につながるという意見だった。

○事務局

「13 職員の災害訓練参加率」でいうと、令和3年度時点の目標で100%に対して未達という評価ではなく、令和5年度までに100%を目指すという目標であることを踏まえると、令和3年度で半分以下という状態は進みが遅いという担当課の判断もあり、下向き矢印の表記になっている。このことは、担当課の危機対策担当でも非常に歯がゆい思いをしており、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修規模の縮小や人数を減らす中で伸び悩み、非常に苦慮していると聞いている。それを踏まえた上で、予定より進んでいないという評価をさせていただいたことにご理解いただきたい。

○千里委員長

私は災害訓練に直接関わっているが、100%の目標達成を目指して年々増えていくようにしなければならないが、それが思い通りにならないという非常に難しい部分である。昨年からは少しずつ災害訓練も動き出してはいるが、当初の予定通りにはできないのが現状である。

令和5年度まではまだ期間があるが、新型コロナウイルスの影響がどう出るか予測できない。その中でも100%の目標達成を目指してほしいというジレンマを抱えている。新型コロナウイルスの影響で大変な思いをされていて、精神的なご苦労もあるだろうが、感染拡大防止の対策とのバランスを見ながら是非頑張してほしい。

○神保委員

その通りだと思う。

○千里委員長

資料2については、この矢印が何を表しているのか分かりにくいところがあると思う。市民目線で考える必要があり、分かりやすい資料を作成し、公表していくことを検討していかなければならないと考える。

他に質問、意見等はないか。

(なし)

3 その他

(1) 令和4年度行政評価外部評価の実施スケジュールについて

事務局から説明

- ・ 令和4年度行政評価外部評価の実施スケジュールについて：(資料4)
- ・ 事務事業評価表及び事業内容説明書：(資料5)
- ・ 令和4年度行政評価外部評価に係るヒアリング予定事項：(資料6)

【質疑なし】

(2) その他

○事務局

次回の開催は11月を予定している。まず委員長と調整の上、後日、委員の皆様と調整する。

【質疑なし】

4 閉会